

秋川市 硬式テニス連盟ニュース 第14号

発行・秋川市硬式テニス連盟広報部 大島 (59)0249

波乱万丈 春の市民大会

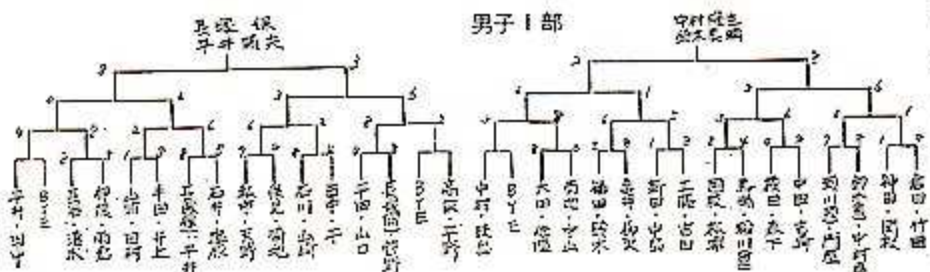
五月二十五日男子、六月二十二日女子の市民大会が行なわれました。

ダブルス戦では圧倒的な強さを誇り、五年連続王者に君臨していた中村(英)・荻島組が、二回戦で太田・佐藤組に敗れ、六連覇ならず、決勝戦では中村(隆)・鈴木組が佐藤・太田組を敗りチャンピ

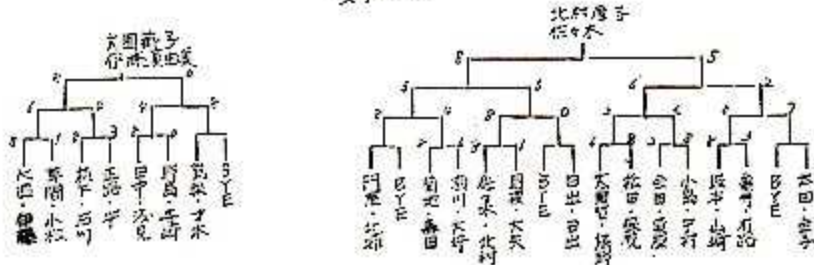
オンの座に輝きました。

女子のダブルス戦でも、デ・フィンディングチャンピオンの門屋・北浦組を北村・佐々木組が敗りV1達成。このペアは六年間同じペアを組んでの初優勝で、試合後のインタビューの時も本心にうれしそうでした。

男子1部



女子1部



女子2部



大園・伊藤



佐々木・北村



長塚・平井



中村・鈴木

優勝者インタビュー

鈴木「テニスは会社でいつもやっています。優勝できてうれしかったです。勝因は二人のバカ力かな。ビールがうまさうだ。」

中村「ウインドサーフィンやスキー等、ミッドハーススポーツならなんでもこなしますが、秋川でのダブルスは今回が初優勝です。一回戦に勝って、ペアの息が合ってきたみたい。」

長塚「疲れましたけど、いい試合が出来ました。次回は一歩で頑張ります。普段は会社の仲間と中央コート等で練習しています。市民大会で勝ててうれしいです。尚、二人とも独身ですのでよろしく。」

北村「佐々木さんのおかげです。後ろでよくつないでくれたので。」

佐々木「ラッキーノとでもしあわせ♡」

大園「高校生相手でも、体力ではまだ負けません。」伊藤「一部目指して頑張ります。」

春の合宿

86
5/17
5/18

大島 健二

今回の合宿は、都民大会、各会社の春の旅行等と重なり、参加人数は二十五名と少なかつたが、雄大な富士の残雪を眺め、落葉松の新緑を渡る風を身体に受け、コート狭しとばかりに走り回った。市民大会前の合宿でもあり、コート面数にも余裕があったので、試合中心の練習だった。勝者には、ホットマンのデラックス・スポーツタオルが。敗者にもそれなりのスポーツタオルが配られ、少人数なりのこじんまりとした良い合宿だった。

合宿に参加して

小山内竜也

「ワァー」と誰かが歓呼の声を上げた。

そこには、富士の山が我々を歓迎しながらそびえ立っていた。さらに、天までが我々の心を表わしているかのよう澄みきっていた。こんな所で練習できるなんて何てすばらしいことなんだろう。コートが宿より多少離れていたが、そんな快適な気持ちでコートに向かった。

時より漂ってくる田舎の香水でふと故郷を思い出していると、近くのコートから別グループの若いギャルの声が聞こえてくる。心がさらに踊り上がるようだ。

テニスを始めて間もない自分は、休日の練習に毎週は参加できないため、合宿には参加しようと思っていた。今回で合宿も二度目ですが、前回に比べると少人数であり、コート数が四面もあって充分練習できたうえに、試合らしきものもかなりできた。

今後は、合宿には常に参加し、休日の練習にもなるべく参加できるように心掛け、練習量を増やし、試合にも多く参加したいと思います。

合宿を振り返って

北島 春忠

五月十七日、朝七時に八王子インターに集合し、合宿先である忍野村へと車を走らせた。天気は、日頃の行いが良いだけあって、雲一つない青空が広がり、カラッとした晴天である。カセットテープを聴きながら、窓から吹き込んでくる風と、太陽の光を浴びれば、気分は最高である。一時間半ぐらいいで、目的地に着いた。

練習は、初・中・上級に分れて、私はもちろん、初級である。初めてラケットを握ってから何年か経ったが、今だに初級から脱出できないのは、練習を繰り返さないからであることは自分でもわかっていて、この合宿をきっかけにテニスに打ち込もうと思った。コーチの方々は、熱心に親切に指導してくれた。夕方近くになると、日頃運動不足のため、足が疲れてきた。でも、若さで頑張った。

翌朝、六時から早朝練習があった。自由参加であるが、天気も良いし、眠い目をこすりながら、コートへ向かった。やはり、「来て良かった。」と思った。

思った。昨日よりも、富士山が雄大で美しく、草木が朝露で光っていた。秋川も自然がいっぱいだが、あの富士山には負けてしまったナ。今日も交代でコーチがついてくれたので、助かりました。

「テニスが上達したかどうか？」疑問が残るけれど、大変充実した合宿でした。

練習に飽きない私ですが、これからは練習に励み、

私のスポーツ歴！

樋口 嘉子

小学校で軟式テニスを習い、中学でバドミントンクラブに2年間所属。(BUT放課後のおしゃべりクラブに所属していた様状)

高校で、バスケットクラブに三ヶ月間所属。

卒業後、日本ビクターに入社、会社名通り社内はどちらかと言うと音楽し好人はかり、そんな中で山のクラブに入会。ここでも飲み会、ハイキングには顔を出し、山登りの声をかけられると、幽霊部員に早がわり。とこんなスポーツ歴(?)を持つてゐる私が、やれば楽しく出来るのに、気力がなかっただけ気づいたの

楽しみながらテニスを続けていきたいと思っています。



は、北アルプス奥の登山、北海道「大雪山登山」、八王子「新宿までの、オールナイトハイタ十一時間」と、どれもくたばらずに達成。達成直後のすがすがしい気持ちの時に、「次は、スキーをやってみよう」と……

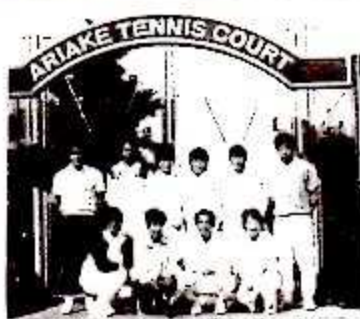
「次は、テニスをやってみよう」と……
体を動かす事の楽しさやつらい時に、乗り越えた後のさわやかさ、満足感を山を通じて感じました。今年の目標は、テニスにチャレンジして人並みにマスターすること。
会社以外での人との交わりの場である秋川市のテニスクラブで今後も、楽しく過ごしていきたいと思います。
これからも、ヨロシクお願いします。



都民大会

春季テニス競技大会

五月十八日(日)、有明テニスの森公園コートに於いて男・女各五名(ダブルス二、シングルス一)出場しての大会が催されました。



都民大会に参加して

北浦 友子

五月十八日に有明の森にて行われた都民大会に、我が秋川も五人のベストメンバー(?)で参加しました。ダブルス二、シングルス一の三ポイントで行われましたが、残念ながら今年も一回戦の壁を破る事ができませんでした。参加者に本格テニスの人は数少なく、ほとんどがママさんテニスで

結果・男子の部第一回戦

秋川②-①杉並区

第二回戦

秋川①-③千代田区

女子の部第一回戦

秋川①-②豊島区

男子一回戦突破!!

おめでとう

次回はさらに上位を目指しましょう。

女子シングルスでの勝星はリッパ。

す。ストロークも、ボレー、スマッシュもさほど差がありません。でも一つだけ違いをあげるのなら、決める時に決め、守る時に守っているのです。全々、無理していないのです。チャンスボールに「それきた」とばかり気負いこんでネットしてしまったり、守るべき時に一発勝負をかけてしまったり(時には必要だと思いますが...)してしまふ事の多い私達には、とても良い勉強になりました。もし来年また出していただけなら、何とか一回戦に勝ちたいと思っています。それには練習あるのみです。またまた文句を云いたそうな家族の顔が浮かんできました。



台留を明るく盛り上げてくれた三人のお嬢さんです。右、樋口嘉子さん。「趣味はスキー、登山、それにビクトロン(電子オルガン)でビクターに勤めています。」

中央、田口栄子さん「皆さん、テニスもだけど、エアロビクスやりましよう。」

左、北島春恵さん「冬はスキーツアーを計画して下さい。」

(ゴールイン)

▼長い間役員として活躍してくれた中原直美さんが、六月八日結婚しました。しばらくの間、役員を降り、秋留台に新しい家庭を作る事に専念する事になりました。長い間御苦労様でした。今度逢ったら「浅川さん」と呼んで下さい。

▼コーチとして活躍中の藤野正人さんが同じく六月八日ゴールインしました。早く皆に、花嫁さんを見せて下さい。

▼六月一日、梅園堂杯大会が行なわれました。昨年は男女とも秋川が制覇したこの大会ですが、今年は惜敗に終わりました。結果は、男子Aは、リーグ戦二位。男子Bは二回戦。男子Cは一回戦で敗退しました。女子Aは二回戦、女子B・Cは一回戦で破れました。来年は初心に帰り、V奪還だ!!

行け~~~~

▼十一月九日(日)大島のテニス連盟の方々の親善試合が行われる予定です。試合後交流会もあります。参加できる方は日の出まで
TEL (59) 6615

▼七月十三日、小金井のテニス連盟と親善試合が行われる予定です。雨の為、中止となりました。



